
とあるブリテンの疾走

ずっとXナンバー。

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

とあるブリテンの疾走

【Nコード】

N2768H

【作者名】

ずっとXナンバー。

【あらすじ】

俺は翔ける。ただひたすらに・・・

俺の2本の足は、火花を散らしながら俺を導く。

周りの景色がだんだんとぼやけていき、やがて彩色された線の集団になる。

嗚呼、俺は今、海岸を駆け抜けている！この今にも爆発しそうな思いを胸にしながら！

走れ！走れ！走れ！もっと速く！もっと速くだ！

もどかしいほど動かない足を叱咤激励しながら、俺はまるで滑るように走る。細かな砂の上を、そう。まるで飛ぶように。

俺は「地上を飛んでいる」。俺の熱い魂の雄叫びをぶつける為に、飛んでいるんだ。

2

だが俺の魂の走りも、砂浜の小さな、とても小さな窪みによって終焉を迎える。

「しま・・・っ」

俺は派手に姿勢を崩し、そのまま倒れ込む。大地と海が交わるこの土地で、俺は憎々しいほど青い空を見た。

「・・・畜生」

俺は目を閉じた。そろそろタイムリミットだ。

俺の体は鮮やかな白い閃光に包まれ、そして消えていった・・・

「やっぱりこの武器使えませんぜ、長官！」

「う、うーむ。ロケット推進で車輪を回して敵陣に上陸させ、爆発させる。うまくいくと思ったんだが・・・」

「足場が悪すぎるんすよ！」

「カーペットでも敷くか？」

「・・・俺達、こんなもん作ってないで、もうちょっとマトモにナチと戦う方法を考えた方が有意義だと思うんすけど」

「そうだな・・・残念だが、この計画は白紙に戻すか」

この日。イギリス兵器の黒歴史「パンジャンドラム」は、この世界から姿を消した。

(後書き)

パンジャンドラム、WW2の素晴らしいオヴァカ兵器です。ブリテンがどうしてあんなものを作ろうという気になったのか、未だに謎です。

どこに転がるか分からない地獄の火炎車(炸薬搭載済)を砂浜に一齐に放ち、その後で歩兵が突撃する算段だったらしいですが、敵はもちろん、確実に味方もビビりますよね・・・

こいつについての詳しい資料はWikipedia等をご覧ください。イギリスのこの珍兵器を前に、開いた口がふさがらないでしょう。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2768h/>

とあるブリテンの疾走

2010年10月26日01時43分発行